

第19回植物園シンポジウム
ふるさとの植物を守ろう

ナショナルコレクション

守りつなぐ、 江戸園芸

古来より日本人は野山の花を愛で、

日本独自の多様な園芸品種を作り出してきました。

これらは生きた美の文化財でもあり、遺伝資源としても貴重です。

本シンポジウムでは、江戸園芸を通じて、植物の多様性、

栽培や観賞作法などの文化を含めた魅力を知り、

未来に受け継いでいくためにできることを考えます。

2022年3月6日(日)
13:00~16:00

会場 神代植物公園 植物会館2階集会室 および オンライン
(東京都調布市深大寺元町5-31-10)

参加費 参加無料(現地参加者は別途入園料が必要)

定員 100名(現地、オンライン共に各50名)先着順・申し込み方法は裏面参照

主催 公益社団法人日本植物園協会

共催 公益財団法人 東京都公園協会

第1部 江戸の園芸植物を守る (13:00~15:10)

第2部 江戸の園芸文化を知る ウメコレクション見学会 (15:20~16:00)
(現地参加希望者のみ)

サクラソウ唐衣
かしらぎ



ウメ月宮殿
げんきゅうん



マツバラン
楊枝文龍山



サクラソウ
酒宴の床



ウメ未開紅
みかいこう



マツバラン古金蘭
こきんらん
(鉢/阿波八須賀家蔵オランダ)



マツバラン鳳凰柳
ほうおうなぎ



マツバラン青龍角(鉢/尾張藩御庭焼)

